



2012年1月30日

プレミアム・コンパクト・スポーツ・セダンのセグメントを確立した ニューBMW 3シリーズが約7年ぶりにフルモデル・チェンジ

- 新世代エンジンの搭載により、約24%も燃費を改善し、燃料消費率が15.6km/lとなり、全モデルがエコカー減税および補助金対象モデルに。
- スポーティで俊敏なハンドリング性能を実現、走行快適性ならびに居住性を大幅に向上。
- ニューBMW 320iを2012年春に導入、さらには、フル・ハイブリッド・モデルであるニューBMW ActiveHybrid 3を2012年秋に導入。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長:ローランド・クルーガー)は、同社のプレミアム・コンパクト・スポーツ・セダン、「ニューBMW 3シリーズ セダン」を、約7年ぶりにフルモデル・チェンジし、全国のBMW正規ディーラーで本日より販売を開始すると発表した。納車は、2012年2月中旬からを予定している。

BMW 3シリーズは、1975年の登場以来、卓越した運動性能や高い安全性、快適な居住性能を確保しつつ、日本の道路事情に適応したボディ・サイズによる取り回しの良さ、等、BMWの魅力が凝縮しているモデルであり、プレミアム・コンパクト・スポーツ・セダンと言うジャンルを確立したモデルである。

約7年ぶりのフルモデル・チェンジにより、第6世代目になったニューBMW 3シリーズは、これまでの3シリーズが持つ魅力をそのままに、新世代エンジンや、より高い俊敏性や走行安定性を実現するシャシー設計によって、よりスポーティでありながら高効率、かつ、走行快適性を大幅に改善。真のスポーツ・セダンとして、その資質に磨きをかけ、大きく進化した。また、「よりクリーンに、よりパワーを。BMW EfficientDynamics(エフィシェントダイナミクス)」の設計思想に基づいたテクノロジーの採用により、全モデルが75%エコカー減税対象モデル、およびエコカー補助金対象モデル(環境対応車普及促進対策費)となる。

*: 平成23年度第4次補正予算案が国会において成立された場合に実施予定。

メーカー希望小売価格(消費税込み)

モデル	エンジン	トランスミッション	希望小売価格
ニューBMW 328i	2.0リッター 直列4気筒 DOHC BMWツインパワー・ ターボ・エンジン	8速AT	¥ 5,700,000
ニューBMW 328i Sport			¥ 5,860,000
ニューBMW 328i Modern			¥ 5,860,000
ニューBMW 328i Luxury			¥ 5,860,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づくリサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様。
- BMW Group Studio(千代田区丸の内1-9-2)にて、2012年1月31日より展示予定。

ニューBMW 3 シリーズの主な特長

- ダイナミズムとエレガンスをより高いレベルで融合したデザイン
- より一層の高出力、低燃費、低排出ガスを実現すると同時に、スポーティで俊敏なハンドリング性能を実現し、さらに、走行快適性を向上。
- デザイン・ラインの導入により、ライフスタイルにあつたきめ細かいモデルの選択が可能に。
- 先代モデル同様、ドア・ハンドルのデザインを日本仕様専用設計とし、日本の一般的な機械式立体駐車場のサイズにも適合する全幅 1,800mm を実現。
- 2012 年春に BMW 320i を、2012 年秋にフル・ハイブリッド・モデル BMW ActiveHybrid 3 導入するなど、これまで以上に魅力的なモデルをラインナップ予定。

ダイナミズムとエレガンスをより高いレベルで融合したデザイン。

よりスポーティ、よりエレガントなデザインを実現、フロント・デザインにおいては、ヘッドライトを低い位置に配置し、BMW 伝統のキドニー・グリルをワイドにしたことにより、低く構えている印象を与えている。ニューBMW 3 シリーズでは新たなデザインの方向性を追求、ヘッドライトがキドニー・グリルに入り込むようにデザインし、キドニー・グリルに立体感を与えていている。サイド・デザインにおいては、ルーフから C ピラー、そしてトランク・リッドへ繋がるスムースなラインが、まるでクーペのようなエレガントな雰囲気を醸し出していると同時に、後輪駆動モデルらしいのびやかなプロポーションを形成している。リヤ・デザインについては、リヤ・コンビネーション・ライトを、BMW の典型的な L 字型とし、バンパー上部を走るラインを両端で上昇させることで、アクセントを与えている。また、リヤ・トレッドが 3cm 拡大したことにより、走行安定性もさることながら、見た目の安定感も向上している。

日本仕様においては、日本の機械式立体駐車場における利便性を向上させるため、ドア・ハンドルのデザインを日本専用設計とし、全幅を先代モデルと同様 1,800mm としている。

プレミアムな空間に加えられた高い快適性

プレミアム・スポーツ・セダンに相応しい高品質な素材を使用したニューBMW 3 シリーズのインテリアは、快適性がより増した空間となっている。快適で安全な操作のために、重要な操作機能がドライバーにとって最適なポジションに配置されているだけではなく、より運転に集中しやすいように、コックピットはドライバーの方向に 7 度傾斜している。また、標準で装備される iDrive の高解像度 8.8 インチ・ワイド・コントロール・ディスプレイは、運転席からも助手席からも見やすい位置に配置されており、ナビゲーションやマルチメディア、車両の状態などに関するメニュー項目も確実に読み取ることができる様になっている。さらにホイールベースが 50mm 拡張されたことによって、後部座席のニー・ルームは 15 mm も拡大しており、ゆとりのある空間を生み出している。

BMW EfficientDynamics の設計思想による優れた環境適合性の実現と、スポーティで俊敏なハンドリング性能の実現

ニューBMW 328i には、2.0 リッターブル直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・エンジンを搭載、最高出力 180kW(245ps)/5,000rpm および最大トルク 350Nm(35.6kgm)/1,250-4,800rpm を発生し、スポーティなパワー・フィールを驚くほどの低燃費と低排出ガスで実現している。この新世代のエンジンは、ツインスクロール・ターボ・チャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション、ダブル VANOS、そしてバルブトロニックを組み合わせた BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーの採用により、低回転から広い回転域で最大トルクを発生させる事が可能である。

高い環境性能を実現したエンジンの採用のみならず、高効率な8速オートマチック・トランスミッション、無駄な燃料消費を抑制するエンジン・オート・スタート/ストップ機能、ブレーキ・エネルギー回生システム、電動パワー・ステアリング等の革新的な技術を数多く採用することにより、最高出力を 13%、そして最大トルクを 30% も向上させながら燃費を 24% も向上^{*1}させ、燃料消費率は 15.6km/l^{*2} となっている。まさに、ニューBMW 3 シリーズは燃料消費量と排出ガスを低減させながら「駆けぬける歓び」を実現する BMW EfficientDynamics の設計理念を具現化したモデルである。

*1: 従来モデルの BMW 325i との 10-15 モード燃料消費率における比較。

*2: BMW 328i の 10-15 モードでの燃料消費率。JC08 モードでの燃料消費率は 15.2km/l。

数々の革新技術の採用により、ニューBMW 328i の全モデルは、「平成 22 年度燃費基準 +25%」および「平成 17 年排出ガス基準 75% 低減レベル（★★★★★低排出ガス車）」を達成、エコカー減税対象モデルとなっており、自動車取得税および重量税が 75% 減税、さらに、翌年度の自動車税が 50% 減税となる。さらに、ニューBMW 328i の全モデルはエコカー補助金の対象モデル^{*}となる予定である。また、「平成 27 年度燃費基準」を 15% も超えて達成している。

^{*}: 平成 23 年度第 4 次補正予算案が国会において成立された場合に実施予定。

また、標準装備のドライビング・パフォーマンス・コントロールには、ECO PRO（エコ・プロ）モードが設定され、ドライバーの燃費の良い走行スタイルをサポートする。ECO PRO モードを選択することで、エンジン・レスポンスやシフト・タイミングが最適化されることに加え、エア・コンディショナー等の作動が効率的に制御され、燃料の消費量を抑制する。また、燃費の良い走行をするためのヒントや、効率を向上させた結果による走行距離の延長についての情報をコントロール・ディスプレイやメーター・パネル内に表示し、ドライビングを楽しみながら燃費を向上させることを可能にした。

ニューBMW 3 シリーズは、新設計のサスペンションを搭載し、アーム類の剛性を高め、かつ、ジョイント部のフリクション低減等を行っている。これに加えて、約 50:50 の理想的な前後重量配分、後輪駆動の駆動方式により、BMW 特有のスポーティで俊敏なハンドリング性能を実現すると共に、走行快適性も向上させている。

デザイン・ラインの導入により、モデル選択の幅が拡大。

まったく異なる個性を持った3つのニューBMW 3シリーズの中から、今まで以上にライフスタイルにあったモデルを選択することができる。

ニューBMW 3シリーズには、BMW 1シリーズより導入し、好評を博している「デザイン・ライン」が導入される。エクステリア/インテリア・パーツや様々な特別な装備品が用意されるデザイン・ラインには、よりスポーティさを強調した「Sport(スポーツ)」、ニューBMW 3シリーズで新たに設定される、より現代的なデザイン性を強調した「Modern(モダン)」、ならびに、伝統的かつエレガントなイメージを強調した「Luxury(ラグジュアリー)」という、3つのコンセプトが用意されている。

モデル・ラインナップの拡充。

ニューBMW 3シリーズは、BMW 328i の導入を皮切りに、本年春にはBMW 320i を、また、本年秋には、フル・ハイブリッド・モデルとなるBMW ActiveHybrid 3 を導入するなど、これまでになく充実したモデル・ラインナップとなる予定である。

ニューBMW 3シリーズの主な標準装備品

- バイ・キセノン・ヘッドライト(LED スモール・ライト・リング、LED アクセント・ライン付)
- 18インチ・アロイ・ホイール*
- リヤ・ビュー・カメラ
- パーク・ディスタンス・コントロール(リヤ)
- 8速オートマチック・トランスミッション
- ドラインビング・パフォーマンス・コントロール(ECO PRO モード付)
- クルーズ・コントロール(ブレーキ機能付き)
- サーボトロニック(車速感応式パワー・ステアリング)
- 分割可倒式リヤ・シート(40:20:40)
- オートマチック・エア・コンディショナー(左右独立温度調節機能付き)
- コンフォート・アクセス(トランク用スマート・オープナー機能付き)
- 自動防眩ドア・ミラー/ルーム・ミラー
- ETC 車載器システム(ルーム・ミラー内蔵タイプ)
- 8.8インチ・コントロール・ディスプレイ
- iDrive コントローラー(ダイレクト・メニュー・コントロール・ボタン付)
- スピーチ・コントロール
- USB オーディオ・インターフェース
- ハンズフリー・テレfon・システム

*: スタンダード・モデルは 17インチ・アロイ・ホイールが標準装備。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インターラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
受付時間：9:00-20:00 年中無休
BMW インターネット・ウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026(製品広報)